

日本共産党

県議選に続き日立市議選に初挑戦します。

これまで、「子育て支援に力を入れて欲しい」「長時間労働、低賃金で働き続けられるか不安」、高齢の方からは「病気になったとき不安」「老後の年金が不安」—市民の皆さんから多くの声を聞いてきました。

みなさんの願いを市政に届け、安心して暮らせる日立市を目指して全力でがんばります。

プロフィール

■1982年、神奈川県生まれ。信州大学理学部物理科学科卒。■大学卒業後、ソフトウェア開発会社に入社し、日立製作所の職場でSE(システムエンジニア)としてソフトウェア開発に携わる。■日立関連労働者懇談会副代表を歴任。■家族：妻・2女1男■日立市森山町在住
■TEL:090-9660-1246

千葉 たつお

民報日立

2019年号外 千葉たつおさんの活動・政策を紹介します
発行 党日立市委員会 〒319-1225 石名坂町1525-21 ☎0294-53-8501

日本共産党はこんな政党

日本共産党は、78%を超える自治体に2,762人(昨年末)(女性議員は、ちょうど1,000人で第1党)の議員をもち、「住民が主人公」の立場で、住民の利益を守る立場から行政をチェックするとともに、住民要求を議会にとどけ、子どもの医療費無料化の拡大、学校給食の無償化、国保料の抑制など、住民とともに政治を動かす大きな実績をあげています。

また、日本共産党は、政党助成金も企業・団体献金も受けとりません。党費、「しんぶん赤旗」などの事業収入、個人からの募金など、党財政を全部自前でまかっています。国民のみなさんにささえられた政党だからこそ、国民の立場で活動できます。



日立市議会議員
大曾根勝正

長きにわたり、ご支援ありがとうございました。千葉たつおさんにバトンタッチいたします。皆様の願い、思いを市政に届けることができる青年です。私に倍するご支援で、市議会に送り出して下さい。



参議院茨城選挙区予定候補
大内くみ子

今年の選挙は、安倍暴走政治を退陣に追い込んでいく絶好のチャンスです。自民党は憲法審査会に、改憲案を提出できませんでした。国民運動と野党共闘の力です。希望のもてる政治をご一緒に進めていきましょう。



友人(農業、十王町在住)
根本雄二

農業を営む若い世代が減っています。歴代自民党政府が、アメリカ・財界言いなりに食料の輸入自由化を進めてきたためです。米価の暴落をおさえ、農業を守る日本共産党の千葉さんを市政に送り出しましょう。

Twitter @tot103
千葉 たつお(達夫)

ホームページ

<http://chiba-tatsuo.com/>
「千葉たつお」で検索



共働きの妻と子育て真っ最中

妻が撮った子育ての写真が日立市の「カジダン賞」(家事に積極的な男性)、「イクメン賞」(育児を積極的に行う男性)に入賞しました。社内で男性で初めて育休を取得し、共働きの妻と理想の家事・子育てを求めてがんばっています。



くらしの願い しっかり市政にとどけます

①大型公共事業より暮らし応援に

日立港区第3ふ頭は県が187億円、市が17億円かけて整備。使用するのはメルセデスベンツ1社です。ひたちBRTも、第1期、第2期整備に55億円かけています。費用対効果を考えれば見直しは必要です。日本共産党は、公共事業は防災・老朽化対策を優先し、税金は社会保障、子育て支援など暮らし応援を優先することを求めます。

②人間らしく働けるまちづくりを

若者世代中心に貧困と格差が広がり、働いても貧困から抜け出せないという「働く貧困層」が広がっています。

日本共産党は、人間らしく働けるルールをつかって、「8時間働けばふつうにくらせる社会」の実現をめざします。中小企業への支援を行い、地域経済の活性化につなげます。

③高齢者にやさしい交通手段の拡充を

病院に行くのも大変、交通手段の確保は切実な問題です。バス路線の拡充、タクシー助成券の発行、免許証返納者への補助を最初の1回限り1万円分を拡充させます。

④子育て支援は待ったなし

子どもたちへの施策は未来への投資です。安心して産める環境の整備、学校給食の無償化、保育所、学童保育の拡充、18歳までの医療費の無料化を求めます。

⑤災害に備え安心して暮らせる町づくりを

地震・噴火、気候変動などによる災害が続いています。みなさんと共同して防災マップを見直し、瀬上川水門の整備促進など対策を強化させます。



昨年11月、日本共産党茨城県委員会、県議会議員団とともに「2019年度の県予算編成並びに施策にたいする重点要望書」を県知事宛に提出しました。

⑥国保料の引き下げを

党国会議員団、県議団と力を合わせ、国・県・市の負担金を増額させることを基本に国民健康保険料の1世帯1万円引き下げを求めます。

東海第二原発再稼働に反対します

安全・安心して暮らせることも元気なまちづくりには大事です。そのためには、なによりも危険な原発は再稼働をせずに廃炉にすることです。福島第一原発事故をみれば、原発と住民は共存できないことは明らかです。命より大切なものはありません。

日本共産党は、東海第二原発再稼働をストップさせ、安心して暮らせる社会の実現をめざします。

みなさんと力あわせ実現しました

- ①子どもの医療費助成制度が18歳まで、所得制限なしで外来・入院可能に拡充されました。
- ②高齢者の外出支援に、路線バス・タクシー助成が始まりました。
- ③就学援助費の拡充、入学準備金の引き上げと入学前支給が実現しました。
- ④保育料が値下げになりました。
- ⑤小規模工事希望者登録制度が拡充されました。
- ⑥通学路の交差点に、歩行者用信号機設置を実現しました。